

2025 年度千葉県代協第 1 回理事会議事録

日時 2025 年 7 月 11 日(金) 13:15~16:30
場所 幕張勤労市民プラザ 2F 多目的ホール

<出席理事>(敬称略) 24 名

東正己、五木田厚、今西英人、積田淳、飯田晴夫、大森滋、篠原毅、高橋智之、石原文寛、佐藤隆二、福原鋭司、大塚俊典、森廣賢一、相川幸雄、新貝大輔、安藤康子、金子道大、田原豊、山田悦孝、石井清、倉富宗久、泉明弘、大下整二、池辺晃司

<欠席理事>(敬称略) 6 名

筒井隆行、坂本哲哉、横山一臣、平野(鈴木)まさ代、清水武史、間立徹

<出席監事> <欠席監事>

栗田秀美、小口泰伸

司 会：五木田専務理事

議 長：東会長

議事録作成人：中臺事務局長

<議事> 出席理事数の確認

1. 会長挨拶 東 正己

昨日の集中豪雨による被害があった中、出席への感謝を表明。3 月までに多くの行事や決定事項が控えているため、活発な意見交換を要請。各支部の役員会で、委員会からの報告だけではなく、支部内での議論や意見を委員会にフィードバックすることを推奨。支部活動での課題や要望を県にあげ、委員会で検討し、活動しやすい協会づくりを目指す方針。皆さんの意見や企画をどんどん出して、活発な会議にしていきたいとの意向を表明した。

2. 報告事項

五木田専務より、報告事項の資料順が誤っていたため訂正。企画環境の資料が 1 から 2、組織の資料が 2 から 1 に変更

(1) 会長・委員会報告

東会長：4 月 18 日安房支部総会、4 月 24 日千葉支部総会、5 月 15 日藤山日本代協理事と千葉代協記念セミナーについて Web で打ち合わせ、5 月 20 日教育委員会、5 月 28 日三役会と通常総会、6 月 6 日長野代協 70 周年記念式典、6 月 10 日企画環境委員会、6 月 12 日 CSR 委員会が担当の「防災フェス千葉」、6 月 13 日日本代協通常総会、全国損害保険代理業政治連盟総会、会長懇談会、6 月 18 日広報委員会、6 月 19 日支部長・三役会、6 月 25 日教育委員会、6 月 26 日組織委員会、6 月 27 日東関東ブロック協議会、7 月 2 日豊田俊郎議員事務所訪問。

長野代協 70 周年記念式典の講師として、藤井聡太の師匠杉本昌隆八段、元宝塚歌劇団の朱紫令真さんの講演があった。日本代協の総会では、金融庁より「自動車販売・修理を行う兼業代理店の保険との棲み分けの体制整備の確立」「保険会社によるチェック機能の充実」についての要請があった。

金澤専務理事より、代理店業務品質評価制度の自己点検チェックシートが策定中で、今年度はトライアル、来年度本格運用となります。

金融庁でも閲覧可能となり、閲覧してチェック可能です。損保協会に設置している代理店業務品質協議会が6月行われており、ホームページにアップされていますので、チェックしてください。

政治連盟総会では、兼業代理店の規制について要望活動中。

広報委員会から、今年度のPR動画は会員向けの内容ですので是非見てもらいたいとのことです。

通常総会で、「仲間づくりの活用達成と参加を達成」で表彰され5万円を頂くことが出来ました。

教育（積田教育委員長）第2回教育委員会を6月25日に開催。日本代協アカデミーの新規登録目標について議論。各支部1会員以上の登録を目指す方針。各支部で未登録者への働きかけを依頼。コンサルティングコースセミナーを8月19日開催予定。次回委員会は9月に千葉代協セミナー準備のためリアル会合を開催予定。

企画環境（大森企画環境委員長）第1回企画環境委員会を6月10日よつば総合法律事務所にて全員出席で開催。昨年度は支部活動や教育環境の代理店価値向上策に十分取り組めなかったため、今年度は価値向上策を中心に会議を進める方針を確認。ジギョケイワークショップを開催することとし、第1弾として6月23日に安房支部でワークショップを開催し、成功裏に終了。7月25日には、茂原支部協力のもと、いすみ市商工会が中心となりワークショップを開催予定。次回は9月頃茂原商工会議所での開催を予定。千葉県内各地で今後も開催を予定し、各支部長の協力を仰ぐ方針。次回委員会は9月26日15時からよつば総合法律事務所で開催予定。

組織（飯田組織委員長）第1回組織委員会を6月26日に開催。リアル参加6名Zoom参加4名のハイブリッド形式。今年度の目標は「楽しくやっぺいこう」とし、10月7日に第3回委員会を銚子の割烹旅館鯉屋で宿泊の懇親会を交えた研修として開催予定。近郊の茂原支部も含め各支部間の交流を図る内容で企画。翌日は東庄ゴルフクラブでコンペを予定（3組12名予約済）日本代協の今年の目標は15店（昨年・一昨年も同数で3年間達成）各支部の目標は、安房支部2店、銚子支部2店、千葉支部3店、京葉支部3店、木更津支部3店、東葛支部3店、市原支部3店、茂原支部3店、北総支部3店で計25店が目標。既入会は、木更津支部2店、千葉支部2店、東葛支部1店の5店ですが、残念ながら退会が4店あります。第2回組織委員会は8月19日代協事務局で開催予定。

CSR（高橋CSR委員長）6月14日よつば総合法律事務所で開催。主な議題は6月12日に行われた防災フェス in 千葉ですが、ぼうさい探検隊マップの佳作作品を茂原支部・木更津支部から借用し展示。約60名がブースを訪問し、現物展示によりイメージが湧きやすかったとの反響があった。来年も参加希望。7月9日、船橋市の東葉高校で出前講座を実施。約1,100人の前で25分間講演。そこでのアンケートを千葉県代協の公式LINEへ送付（約270件集計中）。高校生や教職員からも帰ってきて、交通事故の経験であったり講座内容に対する意見等あります。

「ぼうさいこくたいin新潟」の参加枠があと1名あり、日程は9月5日から6日ですので希望者は申し出て下さい。

出前講座講師勉強会は、8月20日、10月16日千葉県代協事務局で15時～17時に開催。各支部1名必須参加。7月9日撮影した動画は篠原広報委員長に編集をお願いしており、でき次第公式LINE等で配信予定です。

次回委員会は9月19日15時～17時、その後千葉駅前で「無保険バイク追放キャンペーン」を行いますますので、お手伝いいただける方はご協力をお願いします。

広報（篠原広報委員長）千葉日報で総会に広告を掲載。「代協だより」総会号を作成配布。「代協だより」は年2回発行を目指し、次回は年末年始または70周年記念号を発行予定。

公式LINEアカウント登録者は約50名。情報過多を避けるため、ガイドラインを策定し、必要な情報のみ厳選して配信。支部イベント・業界動向・県のセミナー案内等、特に周知が必要な内容に限定。メール・郵送・ホームページに加え、LINEの利便性を活かし、会員へのタイムリーな情報提供を目指す。

総務（今西総務委員長）5月・6月に会費の引き落としを実施。千葉支部、木更津支部、東葛支部、北総支部、京葉支部で未納があり。支部長から声掛けし、最終的な入金を目指す。合計未納額は29万6千円。現在の入金額は1,560万円。予算は1,600万円で計上。回収見込みは1,590万円。1月・2月に実施した入会金キャッシュバックキャンペーンの該当者へ今月案内状を送付済みで支部長にはメールで案内済み。東葛支部役員グループライン運用について、「この人とこの人は無料」といった情報共有は、差し支えないことが確認された。

- (2) 70周年記念式典委員会（小口実行委員長）式典日程：2026年2月13日（金）
第1部記念セミナー、第2部式典及び懇親会 会場：ホテルグリーンタワー幕張 講師：千葉県にゆかりのある著名人とし選定中
予算：300万円（不足が発生した場合は予備費より支出）
来賓：小田島日本代協会長、金子日本代協名誉会長、小平政治連盟会長、千葉損保会会長、小林鷹之衆議院議員、猪口邦子参議院議員、豊田俊郎参議院議員（参議院選挙で再選された場合）の7名。
招待者：各都道府県代協会長・DRP・アルメニア税理士法人・よつば総合法律事務所・千葉県保険流通協同組合金子理事長・他提携業者
次回開催日：9月11日13時 事務局

(3) 各支部報告

千葉（田原支部長）6月23日支部役員会を開催。マットプロレスを体験。プロレスイベントが意外に盛り上がり、レクリエーションに使うことを決定。

安房（佐藤支部長）6月4日第1回役員会開催。6月23日ジギョケイセミナーに協力参加。同日第2回役員会実施。6月28日館山市那古海岸で清掃活動とバーベキュー大会を実施予定。

東葛（横山支部長欠席のため池辺副支部長）6月20日Zoomにて第1回役員会開催。各委員会報告、年間活動計画を共有。9月13日恒例の懇親バーベキュー大会を野田市清水公園で開催予定。その他暑気払い、新春セミナーを予定。次回役員会8月8日対面で開催予定。

市原（福原支部長）6月9日役員会開催。主に防災関係の協力について議論。

茂原（泉支部長）5月15日第1回役員会開催。ぼうさい探検隊マップコンクールの担当決め、7月の清掃活動・暑気払いについて協議。7月18日に夏季セミナーとして、代理店体制整備について積田教育委員長の協力を得て行う。

京葉（新貝支部長）6月4日第1回役員会開催。8月29日にセミナーと屋形船を実施予定。屋形船参加費を、東会長より強い要望があり、検討の結果7000円に変更します。まだ参加枠があるので申込受付中。

銚子（石原支部長）5月14日第1回役員会開催。7月8日第2回役員会開催。年間スケジュールや社会貢献活動について協議。勉強会テーマは防災を予定。

木更津（森廣支部長）5月18日盤洲干潟クリーン作戦に木更津支部から7名参加。全体で349名参加。5月20日第1回役員会開催。CSR活動として、ぼうさい探検隊マップや献血活動検討中。地震保険普及キャンペーンの配布は10月予定。

北総（石井支部長）7月24日第1回役員会開催予定。役員向けに、あいおい生命による社労士診断認証制度の説明会を実施予定。社労士による説明であることを確認。

(4) 事務局報告（五木田専務理事）

事務局の夏季休暇は8月12日から8月15日までの4日間。前後の土日を含めると8月9日から8月17日までの9日間が休暇期間。

(5) 活力研論議テーマに関するご意見提出について（資料5）

活力研（活力ある代理店等研究会）は、各保険会社と日本代協が対話を行う機会であり、毎回テーマを決めて議論している。今回のテーマの一つは「自己点検チェック」であり、損保協会が作成した業界共通の自己点検チェックの仕組みや、各社が求める品質基準について、どのような形で実施するのが最適かを保険会社に提案する内容になっている。これまでは意見を県を通して提出していたが、今回は直接日本代協へ提出するよう指示があった。全会員に意見募集を行うと不適切な発言が出る懸念があるため、理事からの意見のみを募集することとなった。意見提出の締切は7月18日であり、該当者にはメールで案内済み。代協会員懇談会（会長懇談会）では、日本代協に対して質問や要望を提出する機会が設けられている。質問内容は千葉代協で一度取りまとめた後、日本代協に提出される流れとなっている。質問提出の締切は9月10日であり、案内は週明けにメールで送付予定。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（2024年度第4回理事会）承認の件（資料3）

誤字脱字、表記の訂正等4か所行い承認

(2) 三冠王について

仲間づくり（飯田組織委員長）一つは日本代協アカデミー。自己点検チェックリストに、募集人に対する教育管理指導があり、コンプライアンスも含め各保険会社がeラーニング等ありますが、それとは別に自社でどういう教育をしているかという点が問われると思います。昨年積田教育委員長に講師をしてもらい、日本代協アカデミーを受講すれば解消できる事を確認し、募集ツールとしてアピールすることにした。

もう一つは代理店賠償。埼玉代協のセミナーは、弁護士による事例紹介と日本代協アカデミーも含め行う。Zoom参加が出来るので、参加希望者はチラシの案内から申し込み、メールでZoomIDを取得し視聴する。各支部でのセミナー開催・参加を支部長・組織委員に協力要請。終了後に情報交換や懇談会を推奨し、参加者同士の交流を促進し入会活動を行う。

ぼうさい探検隊マップコンクール（高橋CSR委員長）3団体が目標だがすでに3団体の申し込みがあり目標達成見込み。防災教育の一環として、通学中の地震・災害時の避難場所を知らない子供が多い現状を踏まえ、教育ツールとして有効。通学路での災害対応や安全な場所の把握など、具体的な教育効果が報告されている。各支部1団体を目標に活動を推進。現在京葉支部2団体、市原支部1団体の申し込みがあり他の支部も11月2日の締切まで活動

要請。案内文やチラシは未作成だが、必要であれば作成を検討する。目標達成のため、未提出支部の課題や障壁を取り除くことを議論の場とした。

コンサルティングコース（積田教育委員長）募集は12月から開始予定。千葉の目標は20名少々と思われる。教育委員会主導でセミナー運営スタッフとして参加し、受講生の学習状況を把握。資格取得スケジュールを作成し、保険会社にも提示。資格取得推進が募集人教育の一環とされている。セミナーは朝8時から夕方5時まで1日かけて実施。途中で5～6人の小グループに分かれて議論し、全体で意見交換を行う形式。Z o o mを活用し、他代理店との交流や意見交換が活発に行われている。70歳以下の社員全員に受講を推奨。受講者からは「体系的の教えてくれる」「十分進化した」と高評価。最近スタッフや内部スタッフも資格取得を目指す傾向が強まっている。ディーラーや専門以外の業種でも資格取得が進んでいるため、早めの取得が推奨されている。早期取得により、顧客から比較された際に「トータルプランナーに認定されています」とアピールできる。昨年のコンサルティングコースは、千葉代協は225%の目標達成。保険募集体制や業務品質の向上のため、トータルプランナー資格は今後必須となるとの認識が共有された。今月から募集人資格制度が変更され、試験内容が難化し、合格基準も高くなった。教育制度や資格取得は必須であり、12月スタートに向けて早めの声掛けと申込準備をお願いしたい。

(3) 2025年度千葉県代協レクリエーションについて（今西総務委員長）

東京消防庁の「本所防災館」（墨田区）での体験型見学ツアーを提案。防災シアター、地震、煙、暴風、都市型水害など多様なコースがあり、所要時間は1時間45分。参加人数は、1グループ24名なので、今回は2グループ（48名、約50名）を想定。最寄り駅は錦糸町。実施時期は11月10日以降の平日で詳細が決まり次第案内予定。

(4) 2025年度千葉県代協セミナーについて（積田教育委員長）

教育委員会で検討した結果、今年度は「体制整備」を中心とすることに決定。講師：第一候補として、元専務理事の野元氏（神奈川代協、新潟代協アドバイザー）第二候補は、日本代協アドバイザーの栗山氏。セミナー構成は2部制。第1部：体制整備の必要性や背景、趣旨の理解促進 第2部：代理店賠償セミナーとコンサルティングコースセミナー 開催予定日：10月15日（水）または10月22日（水） 会場予定：千葉市文化センター（千葉支部教育委員が確認中）日程・会場の最終決定は教育委員に一任することで承認された。各支部から「やって欲しいセミナー」「聞きたいセミナー」の意見を吸い上げ、教育委員会で検討・ストック化し今後の企画に活かす方針。

(5) 東関東ブロック 人材育成セミナー研修会人選について（資料4）

東関東ブロック協議会の人材育成研修会は2年に1度、県の持ち回りで開催。今年度は栃木代協主管で10月31日～11月1日に宇都宮で実施。目的：次世代の指導者及び役員候補の発掘・育成。千葉・埼玉・茨城・栃木の各県から5名ずつ選出。次回(2027年)千葉代協が主管、千葉で開催予定。参加者：茂原支部の石井さん、市原支部の斎藤さん、安房支部の間立さん、千葉支部の中村さん、銚子支部の石原さんの5名での申し込みを承認された。ブロックセミナーは、一般会員も参加可能で、交通費(新幹線指定席まで)を県代協より支給。

4. その他

(篠原広報委員長) LINE公式アカウント運用で有料化検討。公式アカウントは現在352回利用で会員登録は50名。無料プランでは月200通まで送信可能。200名を超えると送信不可。週1回送信の場合4回で上限に達するため今後の増加に対応が必要。有料プラン(月5,000円)に切り替えると上限が5,000通に増加。今後、会員増加や情報発信増加に応じて有料化を検討。タイミングは未定だが、状況を見て切り替え予定。グループごとの配信も可能なため、将来的な運用拡大も視野に入れている。有料化方針について承認を得た。

(小口全国損害保険代理業政治連盟代議員) 7月3日公示、7月20日投開票の参議院議員選挙が実施中。千葉代協は豊田俊郎議員を推薦。東会長が7月2日に豊田俊郎事務所に行きまして要望書を直接お渡しして、内容についても話をした。損害保険代理店の声を汲み取って頂きたいというところで、組織率は何パーセントとの質問があり、千葉代協の組織率は43%、50%未満ではやはり声を届けるには弱いとの印象を受け、組織率向上のため、仲間づくりをお願い致します。

(監事講評)

栗田監事：仲間づくりにおいて、代理店賠償の活用での募集活動がありますが、収支が悪くなっているようです。引受保険会社が外資系のチャブ損保ですので、収支悪化したら簡単に手を引く可能性があります。代理店賠償に入っているから、いい加減な募集をするというようなことはとんでもないことです。併せてコンプライアンスに関することにも十分に教育するようにということで、日本代協アカデミーも重視して頂ければと思います。

以上

(次回理事会) 2025年10月10日(金) 午後1:00～ 於 幕張勤労市民プラザ